

あ と が き

「松本ピアノ・オルガン保存会」は、平成20年度から松本ピアノ修復の手伝い、松本ピアノによるコンサート開催、歴史展開催などの活動を通じて、君津市の文化的遺産「松本ピアノ」の存在を多くの方々に伝える運動をしています。

明治時代に創業し、「日本の三大ピアノ工場」の一つとして名を馳せ、全国に出荷してきた「松本ピアノ」でしたが、時代の趨勢、さまざまな要因が重なり、君津市外箕輪にあった松本ピアノ工場は平成19年春、約100年の歴史に幕を閉じ、三代目松本新一氏から、工場に残っていたピアノ13台、オルガン5台が君津市に寄贈されました。

松本ピアノ創業者松本新吉氏の生き方に感動した歴史研究グループ「小糸川倶楽部」が、君津市に寄贈されたピアノ、オルガンの修復作業協力、活用、広報を目的として「松本ピアノ・オルガン保存会」（以下、「保存会」と略称）を結成し、新たな会員を募り、平成19年12月から活動を始めました。

「保存会」の活動は、平成20年度から始まった君津市の「文化のまちづくり1%支援事業」に認定され、活動資金の一部を支援され、また、「保存会」の活動に賛同する君津市民のほか、市外、県外に住む多くの賛助会員の方々に支援していただき、ピアノコンサートなどを開催することができました。

この活動に、新聞やTV取材、各地からの見学申し込み、講演依頼などがあり、「松本ピアノ」の知名度は広まったと思う一方で、「松本ピアノって何、松本市のピアノ」などと訊かれることも間々あり、まだまだ広報不足であると感じることもあります。

「保存会」は、平成23年度事業として、ピアノコンサート以外に、工場の残存資料、松本ピアノ関連文献、新たに収集した資料、多くの方々の談話などを纏め、創業者松本新吉氏から親子三代に亘る「松本ピアノの歴史」を刊行することにしました。特に、「松本ピアノとはどんなピアノか」を伝えたいと考え、創業者松本新吉氏の渡米日記や雑誌への投稿論文を全文収録し、資料編に掲載しています。

この冊子発刊に際し、君津市はじめ、多くの方々に協力していただいたことに感謝致します。

序文を書いてくださった宇都宮誠一氏、諸資料を見せてくださった横浜開港資料館の平野正裕氏をはじめ、松本ピアノに関する情報を寄せてくださった皆様に厚く御礼申し上げます。松本新一氏には、松本ピアノの音色と心(DNA)を覗かせていただきました。ありがとうございました。

未曾有の受難の年に、「自分の希望を強く持ち続ければ、多くの困難をいつか乗り越えることができる」という松本新吉の言葉をあらためて噛みしめています。

君津市の子ども達、市民の皆様はじめ、松本ピアノに関心を寄せてくださる全国の方々に読んでいただければ幸いに思います。

『松本ピアノの歴史』発刊 協賛者名

(順不同・敬称略)

- ◎おしゃれ工房IZ
- ◎学校法人 君津あすなろ学園 千葉医療福祉専門学校
- ◎株式会社 新昭和
- ◎株式会社 富士食品
- ◎公益財団法人 体力づくり指導協会 君津メディカルスポーツセンター
- ◎佐久間睦美
- ◎山九株式会社 君津支店
- ◎秋香園
- ◎新日本製鐵株式会社 君津製鐵所
- ◎ホテル 千成
- ◎松本ピアノ工場

松本ピアノ・オルガン保存会

- 会 長 ○九島 行正
- 副 会 長 ○和田 昇
- 顧 問 服部 喜光
- 相 談 役 松本 新一
- 会 員 加藤 一雄 / 小松 啓利 / 小松 弘 / 東谷 章
- 事務局長 ○丹村 喜維
- 会 計 ○小池 公子
- 企 画 ○元岡 陸視
- 資料収集 ○河井 衣子

○印：『松本ピアノの歴史』編集委員

編集責任者 九島 行正

松本ピアノの歴史

三代続いたスイート・トーン

平成 24 年 1 月 30 日 発行

発行者 松本ピアノ・オルガン保存会
千葉県君津市君津台 3-14-10
電話 0439-55-4774

印刷 うらべ書房
大和美術印刷株式会社出版事業部
千葉県木更津市文京 5-11-11
電話 0438-20-4435



松本ピアノ・オルガン保存会